



あなたはたいせつなひと

〈ごあいさつ〉

私たちは2015年から、子どもたちにデートDV予防講座の提供を始めました。皆様の温かいご理解とご協力をいただき、2020年4月にNPO法人エンパワメントアフロッキーを設立し、暴力のない社会・ジェンダー平等社会の実現に向けて、啓発活動を推進しています。2021年度もコロナ禍が続き、厳しい状況もありましたが、人間関係の築き方に対する教員の問題意識や暴力防止への関心の高まりなどを背景に、1646人（累計4604人）の子どもたちやおとなにデートDV予防講座を提供できました。「あなたはたいせつなひと」「暴力を受けずに生きる権利がある」「助けてもらっていい」とワークショップで伝えています。

活動を支えてくださる皆様に心から感謝申し上げます。

もっと多くの子どもたちに私たちのメッセージを届けるために、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。
(代表理事 望月理子)

2021年度は、デートDV予防講座等を20回、子ども・おとな1646人に届けました

〈デートDV予防事業〉

- ・デートDV予防講座を、山梨県内の中学校6校(計211名)、高等学校6校(計1145名)、教職員や一般3件(190名)に提供しました。
- ・いのちの安全講座を、山梨県内の小学校で2回(計100名)実施しました。

〈ジェンダー平等推進事業〉

市民対象のジェンダー平等講座の講師および日本女性会議 2021in 甲府の「ジェンダー・DV」分科会のパネリストを務めました。県への要望書やパブリックコメントを提出するなど、行政や市民団体と連携しました。

〈人権啓発事業〉

- ・県立図書館等を会場にして「ジェンダートークの会」を、8回開催しました。性の健康に関する最新情報を交換し合い、経験を聴き合ってエンパワメントする場となっています。
 - ・「世界性の健康デーin 山梨」のシンポジウムを開き、県内で活動している方々をパネリストに招いて、性の健康に関する状況を共有し、課題を議論しました。
 - ・国際女性デーよせてのスタンディングとわかち合いトークを開催し、困難な状況にある女性への支援、人権尊重を訴えました。また、現在の刑法やDV防止法の問題点を議論しました。
- * パルシステム山梨市民活動助成金、県男女共同参画団体活動促進事業費補助金をいただきました。

〈デートDV予防講座を受講した子どもたちの声〉

- ・言葉や態度も暴力になることを知った。好きだから束縛してしまう気持ちがわからなくはないけど、相手を不快な気持ちにさせてしまうなら、それは果たして本当に「好き」なのかと感じました。
- ・今までは相手の意見と自分の意見が違ふとき、相手を悲しませないために自分の意見を言わないことがあったけど、まずは自分の意見を相手に伝えることが大切だと気がつきました。これからはお互いの気持ちを交換し合い、お互いを尊重し合うような関係をつくっていききたいと思いました。

連絡先
特定非営利活動法人エンパワメントアフロッキー
TEL 090-9011-4373
Mail info@empowerment4yamanashi.org

